

展序

はじめに

「舞獅」是台灣人的共同記憶，我們能馬上聯想到「熱鬧、鑼鼓、鞭炮、年節、慶典」等關鍵字。在日本，「獅子舞」也同樣盛行。不論台灣的「舞獅」亦或日本的「獅子舞」，皆起源自古代中國。並隨著人的移動與交流，分別南渡台灣海峽來到寶島、北經朝鮮半島至島國日本，並因應在地發展出多元的舞獅文化。

同屬海港城市的高雄市與富山縣冰見市，擁有許多相似之處。除豐富的漁業文化之外，在節慶祭典擔任要角的「舞獅/獅子舞」，也是兩座城市的共通點。深具日本地方傳統民俗特色的「冰見獅子」，有與天狗大對決的高潮迭起；而談起「高雄獅子」，更少不了全台知名的宋江獅陣及醒獅國際競賽的「戲獅甲」。「冰見獅子」與「高雄獅子」，儘管風格迥異，都在各自的文化脈絡中傳承數百年。讓我們透過這場台、日兩地獅子的跨海共舞，近距離感受日台間傳統藝能獨特魅力。

「舞獅」は台湾人の共通の思い出です。すぐに「熱気、銅鑼の音、爆竹、正月、祭り」などを思い浮かべます。日本でもよく「獅子舞」が行われます。台湾の「舞獅」も日本の「獅子舞」も、古代中国に始まりました。人の移動と交流にともなって、南は台湾海峡を越えて台湾へ、北は朝鮮半島を経て日本へと渡り、獅子舞文化は多様な発展をとげました。

ともに港町の高雄市と富山県氷見市には、共通点がたくさんあります。漁業文化が豊かなほか、「舞獅/獅子舞」が祭りで重要な役割を果たしていることも共通点です。日本の地方の伝統民俗芸能の特徴を色濃く残している「氷見獅子」は、天狗との激しい対決を何度も繰り返します。一方、「高雄獅子」は、台湾中でよく知られている「宋江獅陣」と「醒獅」の国際コンテスト「戲獅甲」をはずせません。「氷見獅子」と「高雄獅子」、雰囲気は異なりますが、どちらもそれぞれの文化の中で数百年にわたって受け継がれてきました。本展の台湾と日本の獅子による海を越えた共演から、日本と台湾の伝統芸能の持つ魅力を身近に感じていただけるでしょう。



紀念章 stamp

- | 指導單位 |  文化部 MINISTRY OF CULTURE  高雄市政府文化局 Bureau of Cultural Affairs Kaohsiung City Government
- | 主辦單位 |  高雄市立歷史博物館 KAOHSIUNG MUSEUM OF HISTORY
- | 贊助單位 |  日台友情 Japan-Taiwan Exchange Association  日台友情 Always Here
- | 合辦單位 |  氷見市立博物館
- | 協辦單位 | 日本方面 | IKI出版株式會社 YouTube青色生態系 入善町公所 上市町公所 小矢部市獅子舞連合會 井波雕刻協同組合 冰見市政府 冰見市IJU應援中心 冰見拉麵 冰見獅子舞博物館 南礪市文化藝術資料庫 高岡市政府 高岡市立博物館 射水商工會議所 富山縣教育委員會 獅子魂計畫實行委員會 萬葉線株式會社 (依筆畫排序)
- 台灣方面 | 內門紫竹寺 中央研究院人社中心GIS專題中心 外交部 台北共樂軒 茄苳金鑾宮 南台灣太鼓教育發展中心 高雄市政府觀光局 高雄市鼓山區公所 高雄兩廣龍獅戰鼓團 高雄市美濃區東門國小 高雄市美濃區龍山國小 高雄市內門區內門國小 高雄市楠梓區莒光國民小學 財團法人小港龍湖廟 國立臺灣歷史博物館 國興衛視 基隆長興呂師父龍獅團 獅公館工坊 新竹縣客家武術舞獅發展協會 新竹縣政府 (依筆畫排序)

| 特別感謝 | 吳騰達 林奕伶 林義安 陳佳琦 陳冠良 張簡承恩 喬喬森 黃文博 黃巧惠 趙守彥 (依筆畫排序)

團體預約導覽

請於參觀前一週於本館網站預約或撥電話 (07)531-2560

GROUP TOUR AND ENGLISH TOUR SERVICE

Please contact one week in advance. Inquiry Ph. +886(7)5312560



高雄市立
歷史博物館
KAOHSIUNG
MUSEUM OF HISTORY

地址 | 高雄市鹽埕區中正四路272號 07-5312560
開館時間 | 週二～週日 9:00~17:00 週一休館
ADD. | No. 272, Zhongjheng 4th Rd., Yancheng District, Kaohsiung City
OPENING HOURS | Tue. through Sun. 9am-5pm
(Closed on Mondays, Chinese New Year's Eve)



高雄市立歷史博物館 | 搜尋



2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16

本報日
Thu

2024

3.10

本報日
Sun

2023

11.16